

決意と才能

セメネス ロハス アブラハム ダビッド

おさないころ、アクセルという名前の友達
がいました。私とちがってがぞくや友人から
天才といわれる少年でしたが、それほどどり
ょくはしていませんでした。勉強は全くせず
いわれたことだけをやっていました。彼と私
は全くちがう人間ですが、二人ともぶつうの
人間でした。私はどりょくしていましたが、
勉強時間をどういかせはいいのかわからない
し、友人も勉強のどりょくを全くしていなか
ったからです。ある日、アクセルはいつもよ
り長く教室にのこっていて、私が授業後にの
こって勉強しているのを見ました。そして、
それを見たアクセルは「授業が終わっても勉
強している人がいるなんて」とおどろきまし
た。それから、彼は私にあこがれ、そんけい
のねんをいただくようになりました。しかし、
私はどんなにがんばってもへいきんてんいじ
ょうのそんはとれないと思っっていました。勉

強けいかくを立てていなかったので、私はも
くてきもなく手あてたりしだいに勉強してい
ましたが、アクセルがこえをかけてくれて、
その日から勉強を手伝ってくれることになり
ました。彼は私のきもんをかいけつするだけ
でなく、よい学習プランをていあんしてくれ、
そのかわりに私はいっしょに勉強すること
で友人の勉強にたいするモチベーションを上げ
る手助けをはじめました。それからアクセ
ルと私は友達になり、少しずつおたがいがひ
つようなそんざいであることに気づき、私は
アクセルをもっとやる気にさせ、アクセルは
私をこうしようさせる手助けをするようにな
ったのです。だから、二人で少しずついっし
よに自分を高めて、トップでがたをならべる
ことができたのです。私はどりよくと助け合
いなくして、才能などは何もうまれなれいこと、
たくえつするためにはおたがいがひつよう
であり、決意と才能がひつようであることをり
かいしました。